

リンクシス ルータのファームウェア リカバリ方法

ルータ前面の Diag ランプが点滅している場合は、ファームウェアが保存されているフラッシュメモリに障害が発生した状態であると思われます。

この状態の場合は、ファームウェアアップグレードユーティリティを使用してファームウェアのリカバリを行なうことで改善される可能性があります。

以下の手順に従って、リカバリを試みてください。

(使用するユーティリティにより画面や手順が異なる場合があります。その際は、手順6まで進めた後、ユーティリティに添付のアップグレードガイドを参照の上、リカバリを行なってください。)

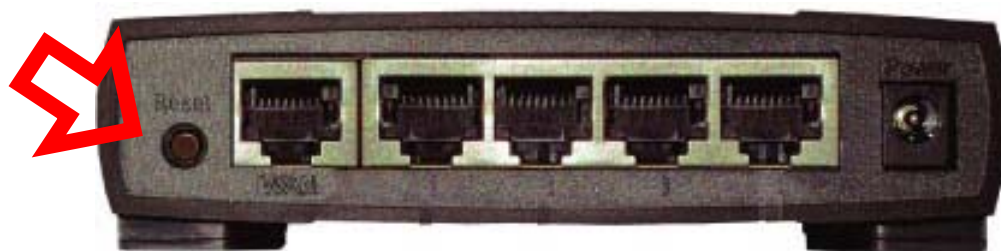
1. アップグレードユーティリティの入手

ルータを使用せずにコンピュータをインターネットに接続し、該当機種種の「ユーティリティ版」のファームウェアファイルをダウンロードし、実行(解凍)します。



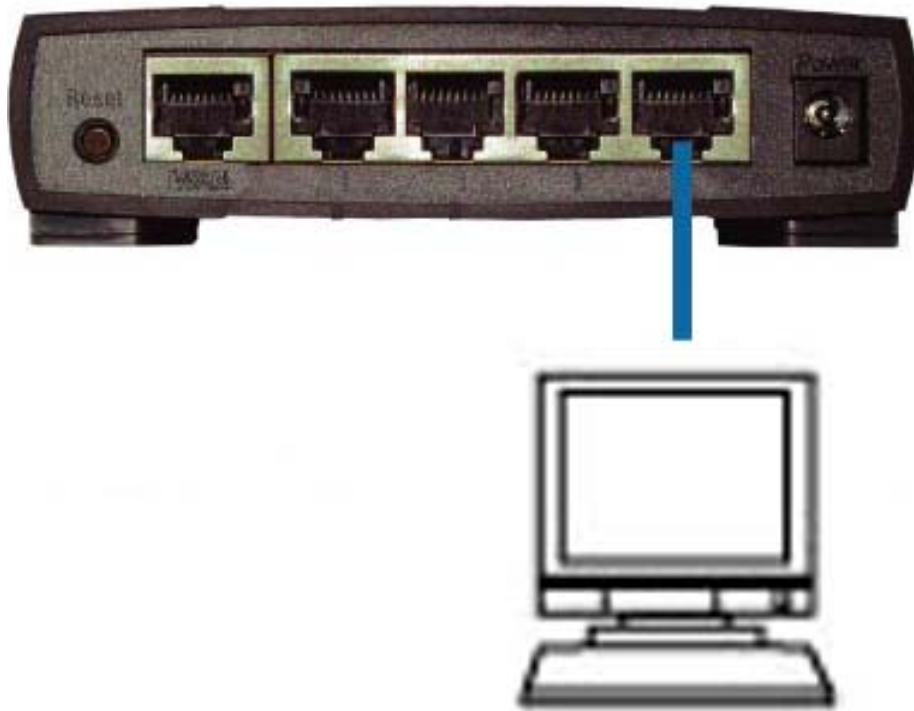
2. ルータのリセット

リセットを行い、ルータの設定を初期化します。ルータの電源が入った状態で、背面にあるリセットスイッチを先の細い棒状のもので押します。離さずに数秒間押したままにすると、Diag ランプが点灯します。さらに押し続けると、消灯(点滅)に変わります。この間数秒から数十秒かかります。消灯(点滅)を確認したら、リセットスイッチを押すのをやめて下さい。(写真は BEFSR41C-JP の場合です。)



3. 接続の変更

リカバリの際に使用するコンピュータをルータの LAN ポートに接続します。このときルータには、リカバリを行なうコンピュータ以外は接続しないでください。

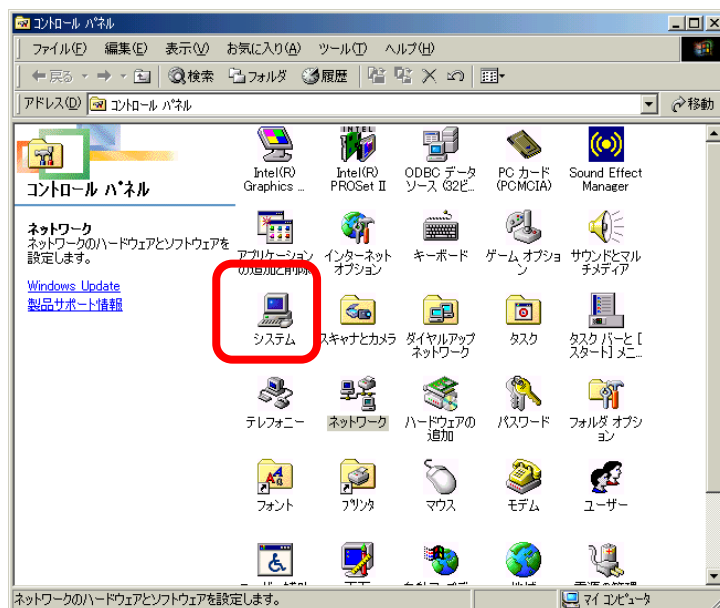


4. TCP/IP 設定の変更

リカバリを行なうコンピュータの TCP/IP の設定を以下のように設定します。ご使用の OS により手順が異なります。

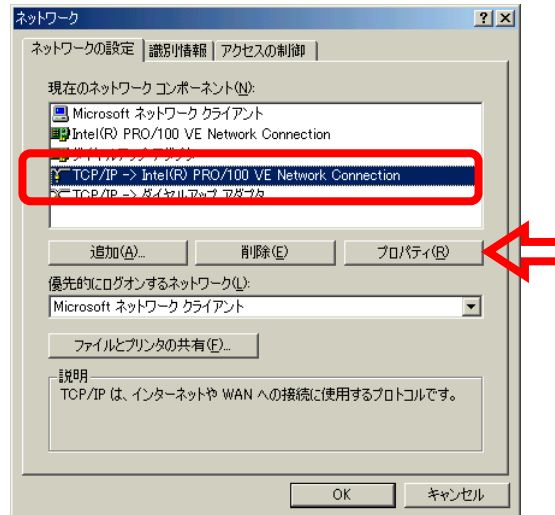
WINDOWS98/98SE/Me の場合

1. コントロールパネルのネットワーク接続を開きます



2. ネットワークのプロパティが開いたらコンピュータに搭載されている LAN ボードの TCP/IP を選択してプロパティを開きます。

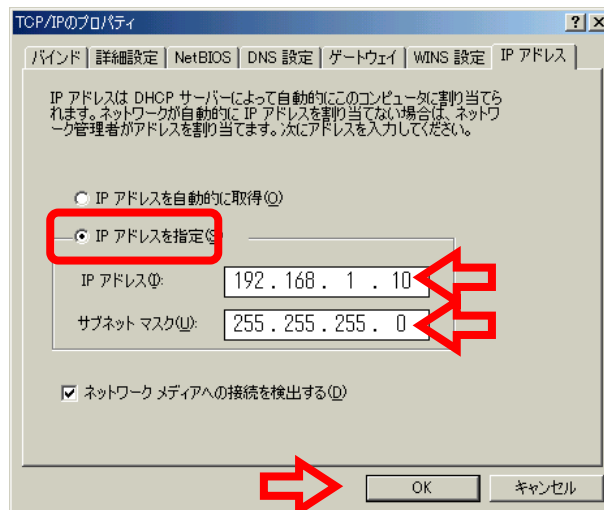
(例: TCP/IP=>LNE100TX)



3. 「IP アドレスを自動的に取得する」を「手動で入力」に変更し、以下のように設定を行いません。

IP アドレス 192.168.1.10

サブネットマスク 255.255.255.0

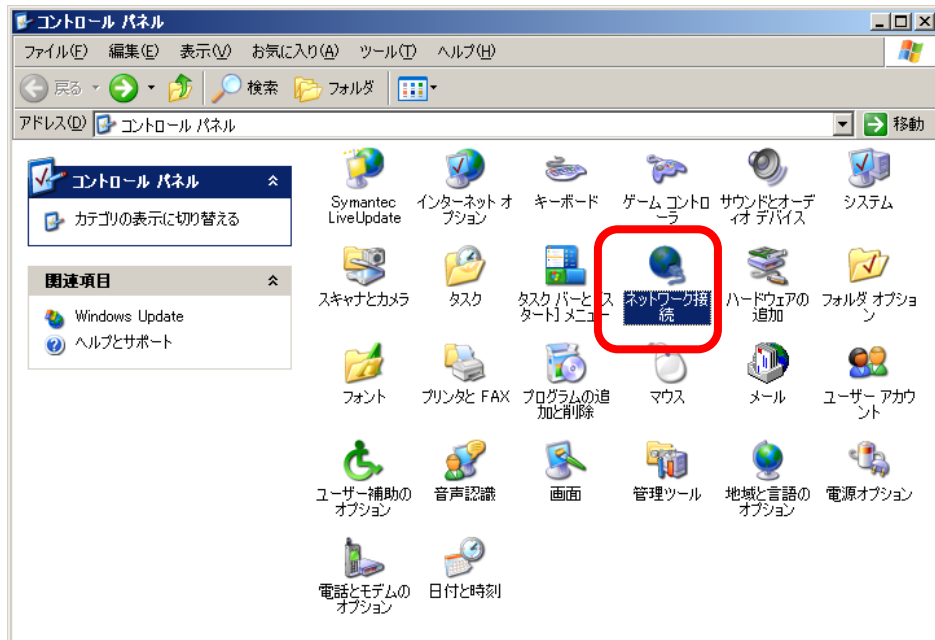


設定が完了したら、OK ボタンを押して、ネットワークのプロパティ画面も 同様に OK ボタンを押します。

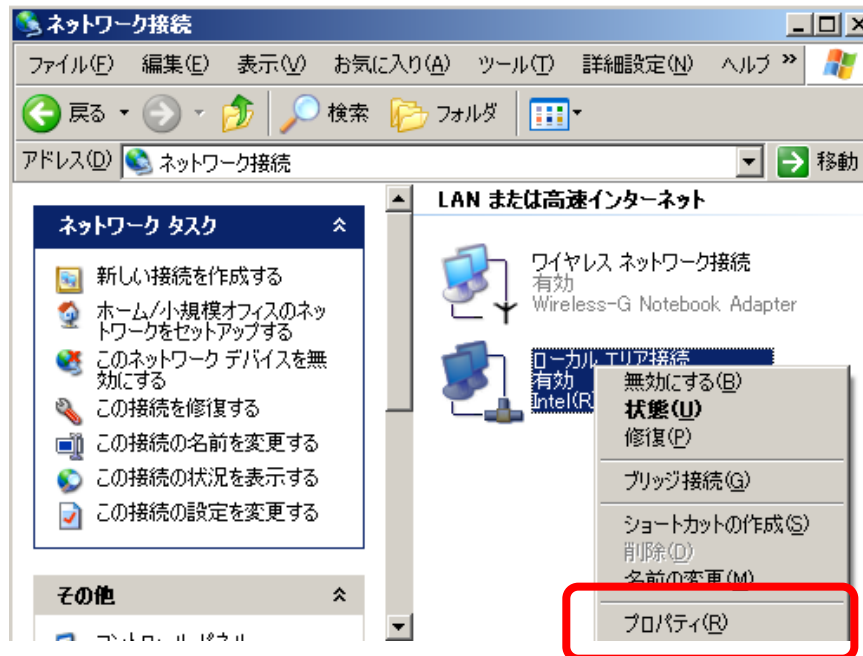
4. 再起動の指示が表示されるのでコンピュータを再起動します

WINDOWS2000/XP の場合

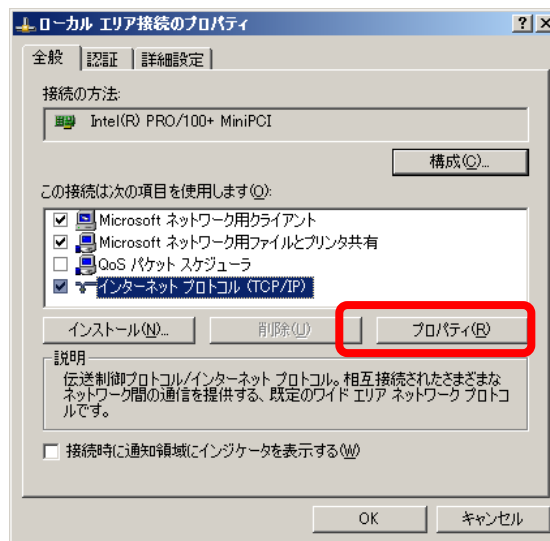
1. コントロールパネルのネットワーク接続を開きます。
(WIN2000 の場合ネットワークとダイヤルアップ接続)



2. ローカルエリア接続を選択して、右クリックの後にプロパティを選択します。



3. ローカルエリア接続のプロパティが表示されたらインターネットプロトコル (TCP/IP)を選択してプロパティを開きます。

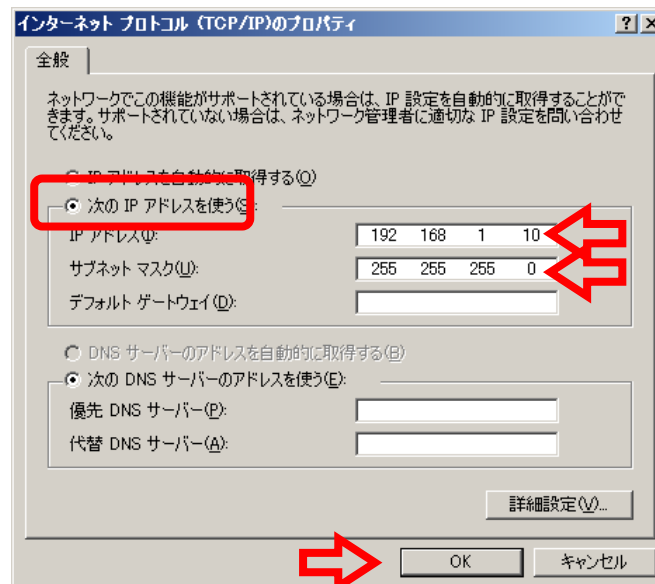


4. 「次の IP アドレスを使う」を選択し、 以下のように設定を行ないます。

IP アドレス 192.168.1.10

サブネットマスク 255.255.255.0

(デフォルト ゲートウェイと DNS は入力する必要はありません)



設定が完了したら、OK ボタンを押して、ローカルエリア接続のプロパティ画面も 同様に OK ボタンを押します。

※OS の再起動を求められた場合は、画面の指示に従い再起動を行なってください。

6. アップグレードユーティリティの起動

ファームウェアファイルを解凍したフォルダを開き、その中にある「code.exe」をダブルクリックして実行します。（ルータの機種により、アイコンが異なる場合があります。画面は BEFSR41C-JP 用の場合です。）

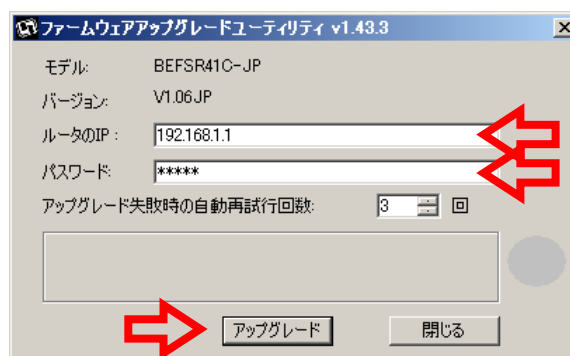


7. リカバリの実施

ユーティリティがウィザード形式の場合は、「次へ」ボタンをクリックして、IP アドレス・パスワード入力画面まで画面を進めてください。IP アドレス・パスワードを入力する画面が表示されたら、パスワード欄に出荷時設定パスワード「admin」を入力してください。また、表示されている IP アドレスがルータの IP アドレスと異なる場合は、出荷時設定 IP アドレス「192.168.1.1」を再入力してください。入力内容確認後、「次へ」ボタンをクリックすると、アップデートが開始されます。（ウィザード形式の場合は確認画面が表示されるので、もう一度「次へ」を押してください。）



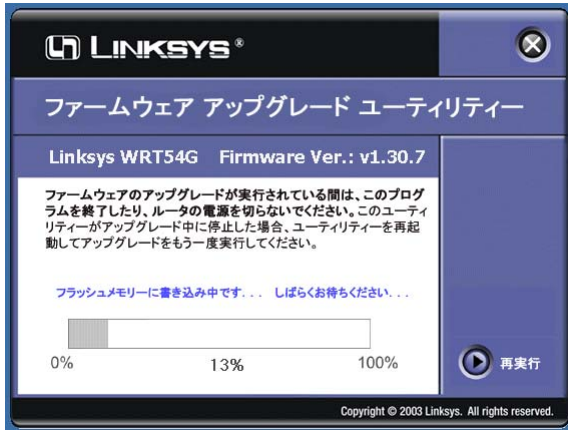
<WRT54G-JP 用ユーティリティの場合>



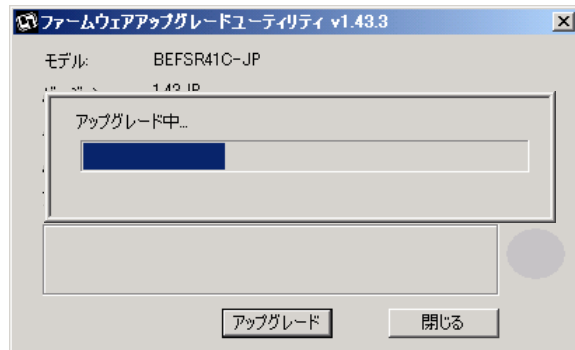
<BEFSR41C 用ユーティリティの場合>

8. アップグレードの実行

アップグレードが完了するまで、数十秒～数分かかりますのでしばらくお待ちください。



<WRT54G-JP 用ユーティリティの場合>



<BEFSR41C 用ユーティリティの場合>

9. 「アップグレードが完了しました」というメッセージが表示されたら、ファームウェアのリカバリは完了です。終了ボタン(または「閉じる」ボタン)をクリックしてアップグレードユーティリティを終了させてください。先ほど設定した IP アドレスを固定した状態から「自動的に取得する」設定に戻して、接続をご確認ください。



<WRT54G-JP 用ユーティリティの場合>



<BEFSR41C 用ユーティリティの場合>

※ ユーティリティによっては「再試行」という表示が出たままになりますが、アップグレードは正常に完了しています。そのままアップグレードユーティリティを終了させてください。

※ アップグレード完了後、ルータは再起動し自己診断モードに入ります。自己診断中は本体前面の Diag ランプが点灯します。消灯するまでルータへのアクセスを行なわないでください。

※ アップグレードに失敗した場合など、Diag ランプが点滅して、ルータのセットアップ画面にアクセスできない場合は、別紙の「ファームウェアのリカバリ方法」の手順に従い、ファームウェアのリカバリをお試しください。

※リカバリを行っても点滅が解消されない場合や、エラーが発生してリカバリが行えない場合は、ルータのハードウェア的な故障の可能性が非常に高いと思われます。リンクシス カスタマーサポートまで、お問い合わせください。

ご注意ください！



ファームウェアリカバリ後は動作安定のため BEFSR41C の初期化が必要になる場合があります。アップグレード実行前に必要な情報をお手元にご用意ください。



ファームウェアのリカバリを行なっている最中は、BEFSR41C と他の機器間で通信を行わないで下さい。リカバリに失敗する恐れがあります。BEFSR41Cに1台だけ接続したコンピュータからリカバリを行なうことをお勧めします。



セキュリティソフトウェアなど、通信を監視するソフトウェアが稼働しているコンピュータからリカバリを行なうと、リカバリに失敗する恐れがあります。監視ソフトウェアが稼働していないコンピュータ、または無効にしてからリカバリを実行してください。



現在リカバリが可能な OS は、Microsoft Windows 98/ME/2000/Xp に限られます。あらかじめご了承ください。



リカバリを行なっても症状が改善されない場合は、障害が深刻な状態にあると思われます。この場合は、リンクシス カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。